

業務報告書

検印 3	検印 2	検印 1	期間/報告日	2013/6/26 ～ 2013/6/26	2013/6/27
			実 施 場 所	国立代々木競技場 第一体育館	
			所 属 / 氏 名	システム開発部	小野 洋輔

業務実施内容について、以下のとおり報告いたします。

I：実施内容

1. 第 89 回 東京電力株式会社（以下、東京電力）定時株主総会
東京電力が主催する株主総会に出席し、以下を傾聴する。

(1) 事業報告（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）

- ① 株主総会議長・下河邊和彦 氏の紹介および同氏による開会宣言
- ② 代表執行役社長・廣瀬直己 氏による事業報告

(2) 議案の紹介および補足

- ① 東京電力による議案の紹介（第 1 号議案）
- ② 株主側による議案の紹介および提案者の補足説明（第 2～16 号議案）

(3) 事前質問の回答

- ① 取締役副社長・山口博 氏による株主総会以前に出された質問の回答
- ② 取締役副社長・内藤義博 氏による株主総会以前に出された質問の回答

(4) 株主の直接質疑

出席した株主による東京電力の新経営陣への質疑応答

(5) 審議

第 1～16 号議案に関して株主の挙手による可否の審議

II：議案

今回挙げられた 16 議案に関しては、第 1 号議案以外の 15 議案は株主側による議題で、第 1 号提案のみ、東京電力による取締役 11 名の選任の提案であった。第 2～16 号の議案に対して、取締役会は経営の合理化、前提である電力の安定供給にそぐわないなどの理由から反対の意思を示し、最終審議の結果も第 1 号議案以外は反対多数により、否決となった。

III：質疑応答

株主総会以前に出た質問回答と重なって多数あった種類の質疑応答は以下の通り。

(1) Q：今後、原発をゼロとする選択肢はないのか？

A：資源の少ない日本に至っては、現状では 50 年以上続く原子力を利用し、今後専門家と相談して火力発電と合わせて、エネルギー政策を行いたい。

(2) Q：今後の原発の安全性に関してはどうなるのか？

A：他国のミサイル実験や倒壊など、起こり得る脅威を考慮に入れて安全強化を行いたい。

(3) Q：放射能による汚染物質（水、汚泥、瓦礫など）処理の現状は？

A：汚染物質の量や規模などを思慮に入れ、廃棄場所の確保、そのための各自治体の了解など、課題が多岐に渡っている。重く責任を受け止め、引き続き善処していきたい。

(4) Q: 役員報酬などの減額は行わないのか?

A: 報酬に関しては、自社で報酬委員会を設置し、公正な見積もりを基として支払いを行っているため、減額の意思はない。

IV: 所感

今回、国立代々木競技場・第一体育館にて行われた、東京電力の第 89 回株主総会に出席しました。多数の警備員や、反原発グループがひしめく少々物々しい雰囲気でしたが、2 年前の東日本大震災以来、その問題の渦中にある東京電力の現状を直に知ることができ、大変勉強になりました。同時に、東京電力の新経営陣と、株主の間で進められた白熱する質疑応答のなかに、様々な人々の憤りを感じました。日本が今日抱える大震災以後のエネルギー問題の根深さ、そしてこれからのそのあり方を、改めて考えさせられた貴重な 3 時間でした。

以 上